



KONICA MINOLTA

コニカミノルタグループ 2011年3月期 第3四半期決算説明会

2011年1月28日

コニカミノルタホールディングス株式会社

常務執行役 安藤吉昭



- 本資料の記載情報

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

- 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料で記載されている業績予想及び将来予想は、現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

今回の決算のポイント(前回予想からの変化)



KONICA MINOLTA

- ▶ 上半期まで順調に進捗してきた当社グループの業績は、3Qで減収減益となり収益回復のモメンタムが減速。足元の状況を踏まえ業績予想を見直す。
- ▶ 情報機器事業では、オフィス、プロダクションプリント両分野とも採算性の高い新製品の販売を伸ばしきれず、本体販売数量が未達。カラー機の販売減及び販売ミックスもセグメント低位シフトの傾向もあり、収益力が低下。
- ▶ オプト事業では、TACフィルムは回復基調となるも、ガラスHD基板、光ピックアップレンズ等は顧客先の生産調整影響が想定より長引き、販売が伸び悩む。
- ▶ これらの結果、9カ月累計では前年比増益を確保するも、前回予想を下回る進捗。
- ▶ 4Qでは、3Qの販売未達分をキャッチアップすべく販売拡大に集中する。費用削減・コスト低減も徹底し、4Q利益の最大化に全力をあげる。

2010年度3Q グループ業績要約



KONICA MINOLTA

[億円]

	10年度	09年度	YoY	10年度		QoQ
	3Q累計	3Q累計		3Q	2Q	
売上高	5,753	5,887	△ 135	1,835	1,972	△ 137
営業利益	283	212	70	56	128	△ 71
(営業利益率)	4.9%	3.6%		3.1%	6.5%	
のれん代償却額	63	70	△ 7	20	21	△ 0
のれん代償却前営業利益	346	282	64	77	149	△ 72
(のれん代償却前営業利益率)	6.0%	4.8%		4.2%	7.5%	
当期純利益	108	90	18	22	51	△ 30
(当期純利益率)	1.9%	1.5%		1.2%	2.6%	
為替レート [円] USD	86.84	93.56	△ 6.72	82.64	85.87	△ 3.23
Euro	113.30	133.00	△ 19.70	112.23	110.66	1.57

2010年度3Q グループ業績総括



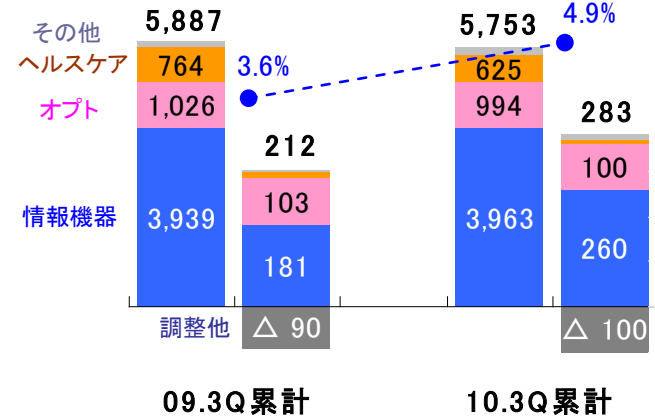
KONICA MINOLTA

3Q累計(対前年比)

- 売上高: $\Delta 2\%$ (為替影響除く $+5\%$)/YoY
- 営業利益: $+33\%$ (為替影響除く $+113\%$)/YoY
- ▶ 売上高は、円高影響で前年並みに留まるが、為替を除く実質ベースでは増収。
- ▶ 営業利益は、情報機器事業がMFP新製品の販売増で牽引し増益。為替を除くベースでは、前年比で利益倍増。

◆グループ売上・営業利益(YoY)

左:売上高 右:営業利益 ...営業利益率 [億円]

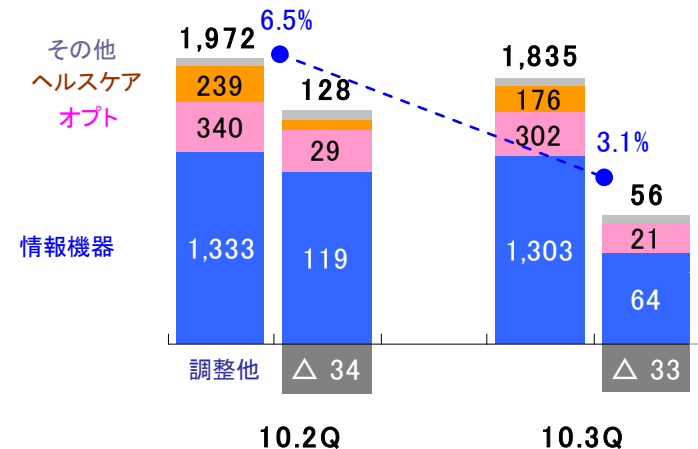


3Q(対直前期比)

- 売上高: $\Delta 7\%$ (為替影響除く $\Delta 6\%$)/QoQ
- 営業利益: $\Delta 56\%$ (為替影響除く $\Delta 55\%$)/QoQ
- ▶ 売上高は、情報機器、オプト、ヘルスケアの3事業での主要製品の販売数量減少の影響を受けて減収。
- ▶ 営業利益は、数量減少に加え、販売ミックスの変化や価格変動等の要因で減益。

◆グループ売上・営業利益(QoQ)

左:売上高 右:営業利益 ...営業利益率 [億円]



2010年度3Q セグメント別売上高・営業利益



KONICA MINOLTA

売上高

	10年度	09年度	YoY	10年度		[億円]
	3Q累計	3Q累計		3Q	2Q	QoQ
情報機器	3,963	3,939	24	1,303	1,333	△ 30
オプト	994	1,026	△ 32	302	340	△ 37
ヘルスケア※	625	764	△ 139	176	239	△ 63
その他事業	116	104	11	36	40	△ 4
HD他	55	54	1	17	20	△ 3
グループ計	5,753	5,887	△ 135	1,835	1,972	△ 137

営業利益

	10年度	09年度	YoY	10年度		QoQ
	3Q累計	3Q累計		3Q	2Q	
情報機器	260	181	79	64	119	△ 56
オプト	100	103	△ 3	21	29	△ 8
ヘルスケア※	6	15	△ 9	0	7	△ 7
その他事業	16	3	12	5	6	△ 1
HD他	△ 100	△ 90	△ 9	△ 33	△ 34	1
グループ計	283	212	70	56	128	△ 71

※09.1Q～10.2Qはグラフィック事業を含む(10.3Q以降は情報機器事業に編入)

情報機器事業の概況



KONICA MINOLTA

3Q累計(対前年比)

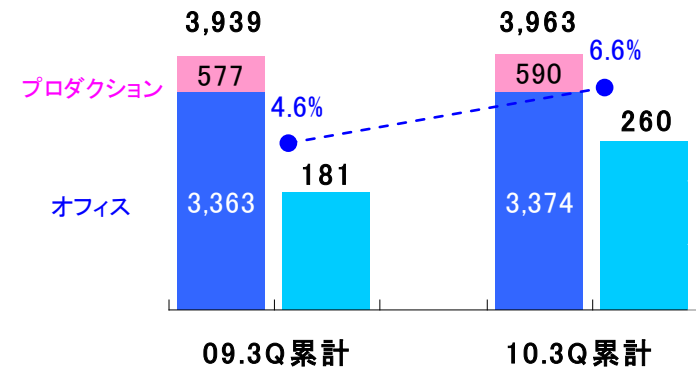
- 売上高: +1%(為替影響除く +10%)/YoY
- 営業利益: +44%(為替影響除く+119%)/YoY
- ▶ オフィス: カラー、モノクロともMFP新製品の販売増が牽引し、収益改善。
- ▶ プロダクションプリント: グラフィック部門の編入を除けば売上横ばい。販売台数増で円高影響をオフセット。

3Q(対直前期比)

- 売上高: $\Delta 2\%$ (為替影響除く $\Delta 1\%$)/QoQ
- 営業利益: $\Delta 46\%$ (為替影響除く $\Delta 49\%$)/QoQ
- ▶ オフィス: 高採算のカラー新製品の販売減に加え、販売ミックスが低位機シフトの傾向となり利益率低下。
- ▶ プロダクションプリント: カラー新製品はスローなスタート。供給・販売体制の整備を慎重に進め、フルスイング販売に至らず。

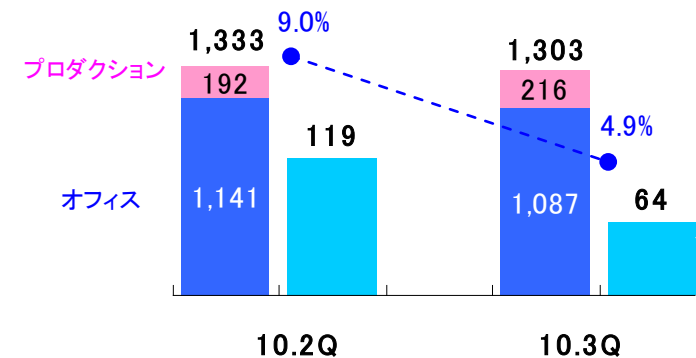
◆売上・営業利益(YoY)

左:売上高 右:営業利益 ...営業利益率 [億円]



◆売上・営業利益(QoQ)

左:売上高 右:営業利益 ...営業利益率 [億円]



情報機器事業 MFP販売状況



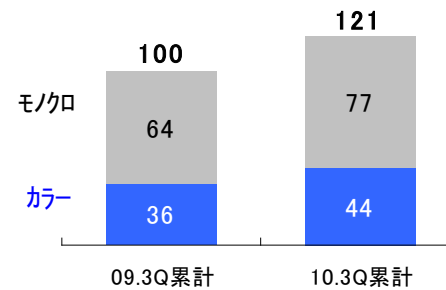
KONICA MINOLTA

オフィス

- 3Q累計(YoY): +21%(カラー: +24% モノクロ:+19%)
 - ▶ カラー、モノクロともに新製品の販売拡大により増。
- 3Q(QoQ): $\Delta 7\%$ (カラー: $\Delta 14\%$ モノクロ: $\Delta 4\%$)
 - ▶ カラー、モノクロとも欧州で増。それ以外の市場は総じて低調。

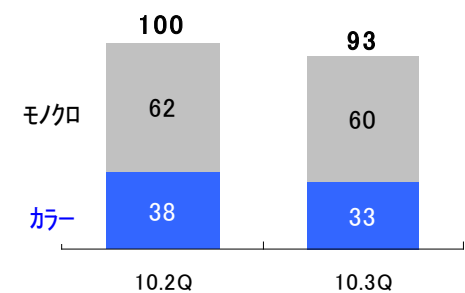
前年を100とした場合の指数

3Q累計(YoY)



10.2Qを100とした場合の指数

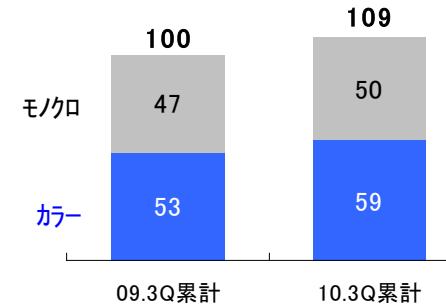
3Q(QoQ)



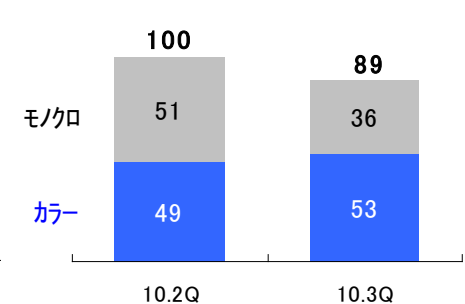
プロダクションプリント

- 3Q累計(YoY): +9%(カラー: +12% モノクロ:+5%)
 - ▶ カラー機は米欧で、モノクロ機は日米欧で伸長。
- 3Q(QoQ): $\Delta 11\%$ (カラー: +9% モノクロ: $\Delta 29\%$)
 - ▶ カラーは欧米で増。モノクロは北米での大口案件が減少し低調。

3Q累計(YoY)



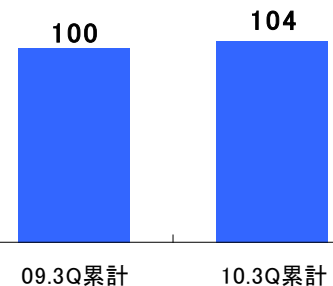
3Q(QoQ)



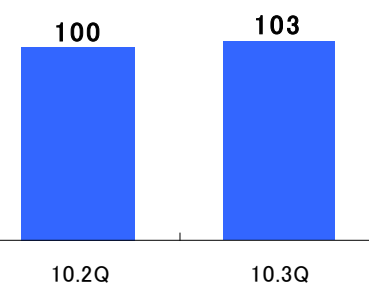
ノンハード売上高

- 3Q累計(YoY): $\Delta 4\%$ (為替影響除く+4%)
- 3Q(QoQ): +2%(為替影響除く+3%)
 - ▶ ノンハードは3Qにおいても堅調を維持。

3Q累計(YoY)



3Q(QoQ)



情報機器事業 対直前期比増減分析



KONICA MINOLTA

売上高

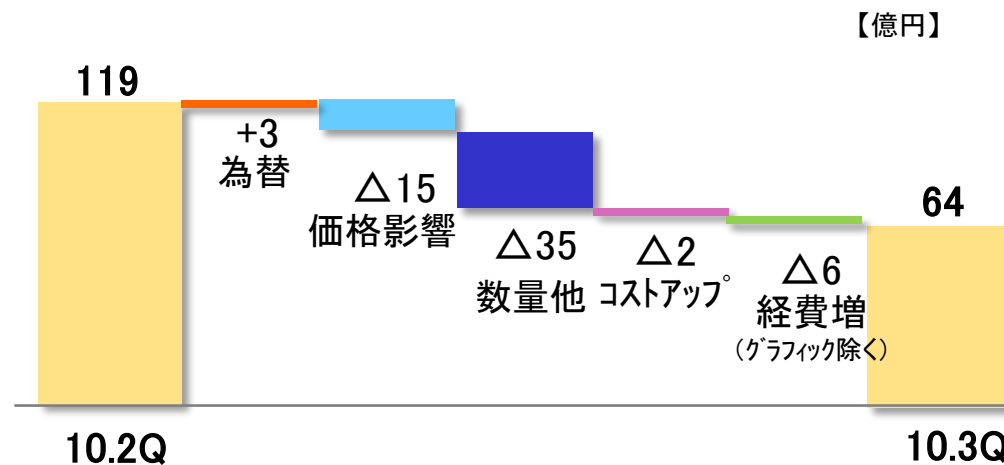
- ▶ 3Qより情報機器事業に編入したグラフィック部門の売上を除いたベースでは△53億円減収。
(オフィス: △53億円、プロダクションプリント: 横ばい)
- ▶ オフィスは、カラー、モノクロとも本体販売台数が減少。
- ▶ プロダクションプリントは、本体販売台数の減少をハードの伸びでオフセット。

※グラフィック部門の編入を除く実質増減
(3Qにおけるグラフィック部門売上高: 23億円)



営業利益

- ▶ 販売台数減少の影響に加えて、採算性の高いカラーやセグメント上位機の構成比が低下傾向となり販売ミックスが悪化。
- ▶ 販売未達に対応して出荷調整を行い、一時的に損益に影響。
- ▶ 経費増は、プロダクションプリントでのR&D費用増。



オプト事業の概況



KONICA MINOLTA

3Q累計(9ヵ月)

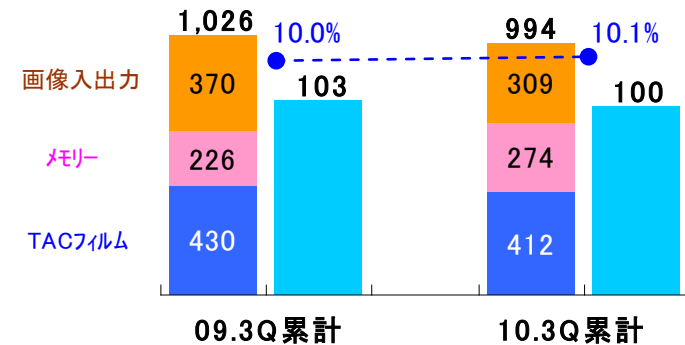
- 売上高: $\Delta 3\%/YoY$
- 営業利益: $\Delta 2\%/YoY$
- ▶ TACフィルム: 2Qからの調整影響により微減収。
- ▶ ガラスHD基板: 高密度化、数量増により増収。
- ▶ 光ピックアップレンズ: BDは販売数量増となったが、プラスチック化等品種構成差により増収は限定的。

3Q(直近3ヵ月)

- 売上高: $\Delta 11\%/QoQ$
- 営業利益: $\Delta 29\%/QoQ$
- ▶ TACフィルム: 調整が長引き減収となるが、10月を底にして、3Q後半は売上・利益ともに回復基調。
- ▶ ガラスHD基板: 生産調整により販売が伸び悩む。
- ▶ 光ピックアップレンズ: ハイエンドPC市場の低迷の影響で販売数量は減少。

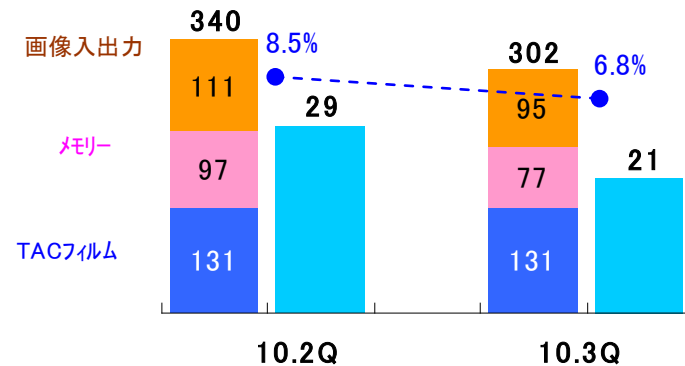
◆売上・営業利益(YoY)

左:売上高 右:営業利益 ...営業利益率 [億円]



◆売上・営業利益(QoQ)

左:売上高 右:営業利益 ...営業利益率 [億円]



オプト事業 主要製品販売状況



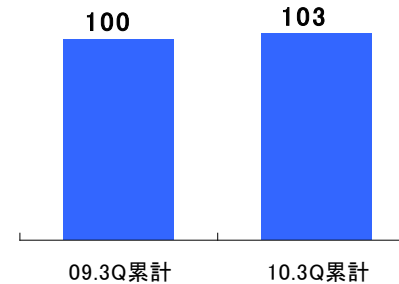
KONICA MINOLTA

TACフィルム

- ▶ 3Q累計 (YoY) : VA-TACは減少も、薄膜・広幅TACが牽引し、全体の販売数量は増加。
- ▶ 3Q (QoQ) : VA-TACの着実な数量回復により、市況は調整局面ながら総量で2Q並みを確保。

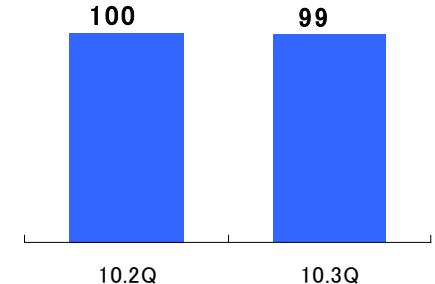
前年を100とした場合の指数

3Q累計 (YoY)



10.2Qを100とした場合の指数

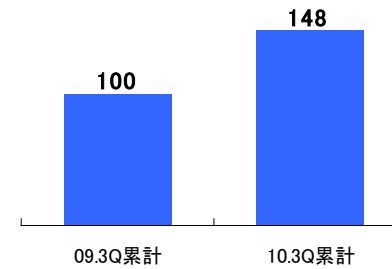
3Q (QoQ)



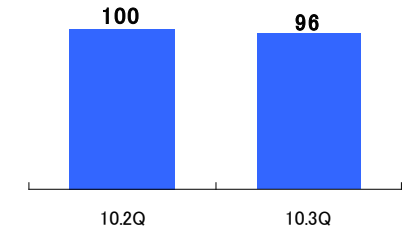
ガラスHD基板

- ▶ 3Q累計 (YoY) : 高密度品を中心に数量拡大。
- ▶ 3Q (QoQ) : 生産調整の影響を受けて伸び悩む。

3Q累計 (YoY)



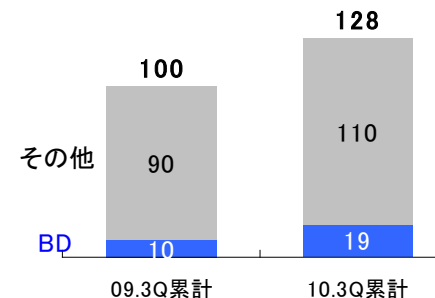
3Q (QoQ)



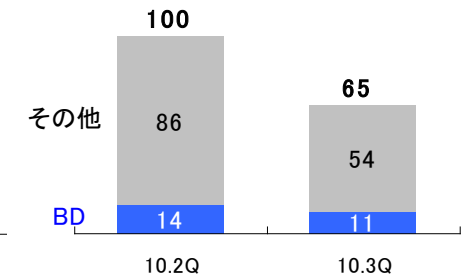
光ピックアップレンズ

- ▶ 3Q累計 (YoY) : BD、DVDとも販売数量は増加。BDはプラスチック化も進み、収益貢献は限定的。
- ▶ 3Q (QoQ) : 生産調整によりBD含め全般に低調。

3Q累計 (YoY)



3Q (QoQ)



オプト事業 対直前期増減分析

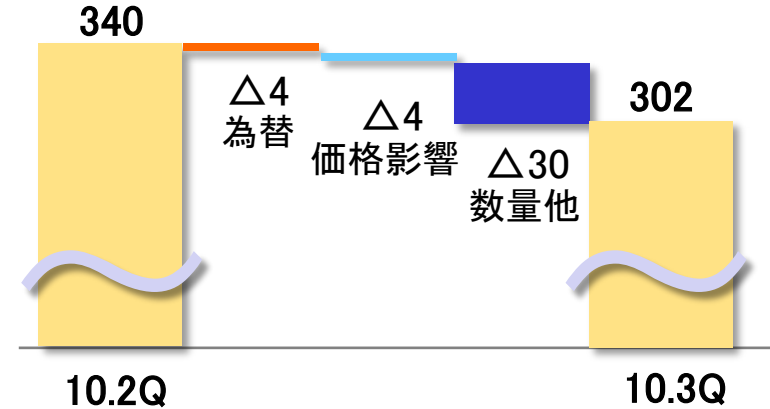


KONICA MINOLTA

【億円】

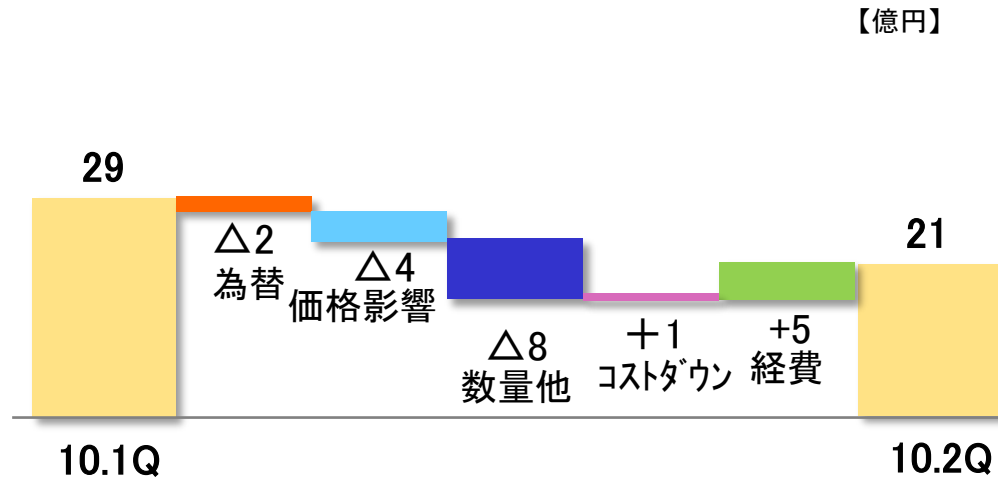
売上高

- ▶ 為替影響は、主にガラスHD基板、レンズユニットで発生。
- ▶ 価格影響は、主にレンズユニットで発生。
- ▶ 数量他は、主に光ピックアップレンズ、ガラスHD基板の販売数量減による。



営業利益

- ▶ 経費減は、主としてR&D費用の減による。



2010年度業績予想 全社業績



KONICA MINOLTA

	[億円]			
	今回予想	前回予想	差異	09年度実績
売上高	7,800	8,000	△ 200	8,045
営業利益	450	500	△ 50	440
(営業利益率)	5.8%	6.3%		5.5%
のれん代償却額	85	85	0	92
のれん代償却前営業利益	535	585	△ 50	532
(のれん代償却前営業利益率)	6.9%	7.3%		6.6%
経常利益	380	430	△ 50	408
当期純利益	200	200	0	169
(当期純利益率)	2.6%	2.5%		2.1%
為替レート [円] USD	85.00	85.00	0.00	92.85
Euro	110.00	110.00	0.00	131.15
	※4Q想定レート	※下半期想定レート		
設備投資	450	500	△ 50	369
減価償却費	570	630	△ 60	612
研究開発費	750	780	△ 30	685
FCF	150	250	△ 100	729

※為替感応度(年間/億円)

	売上高	営業利益
USD	25	3
Euro	13	7

2010年度業績予想 セグメント別売上高・営業利益



KONICA MINOLTA

[億円]

売上高	今回予想	前回予想	差異	09年度実績
情報機器	5,410	5,490	△ 80	5,408
オプト	1,300	1,370	△ 70	1,367
ヘルスケア	855	890	△ 35	1,044
その他事業	170	170	0	145
HD他	65	80	△ 15	81
グループ計	7,800	8,000	△ 200	8,045

営業利益	今回予想	前回予想	差異	09年度実績
情報機器	410	456	△ 46	390
オプト	140	150	△ 10	144
ヘルスケア	10	16	△ 6	15
その他事業	23	25	△ 2	11
HD他	△ 132	△ 147	15	△ 119
グループ計	450	500	△ 50	440

4Q目標達成に向けて



KONICA MINOLTA

▶ 情報機器事業:

- ・オフィス分野では、3Q未達分をキャッチアップすべく、全ての地域・チャネルで高採算のMFP新製品の販売数量増に全力をあげる。
- ・プロダクションプリント分野では、カラー新製品の供給・販売体制も整い、商業印刷・CRD・PFP全てのチャネルでフルスイングでの販売拡大に注力する。
- ・特に、カラー機・セグメント上位機の販売拡大に重点をおいた施策を推進し、数量効果と販売ミックスの改善により利益率改善・売上総利益の最大化を図る。
- ・OPS及びGMAは、獲得した商談案件の4Q中でのクロージングを急ぐ。

▶ オプト事業:

- ・TACフィルムは、当社が強みとする新VA-TAC、薄膜・超広幅TACの販売拡大に全力をあげ、市場以上の成長を目指す。
- ・市況が未だ調整局面となっているガラスHD基板や光ピックアップレンズは、海外シフトの加速など生産性向上、効率化の施策推進により収益改善に努める。

▶ 経費管理:

- ・販売拡大のための費用を優先し、メリハリをつけて経費削減を徹底する。

情報機器事業 4Q販売拡大に寄与する戦略商品



KONICA MINOLTA

プロダクションプリント機



bizhub PRESS C8000



bizhub PRESS C7000



bizhub PRESS C6000

A3 オフィスカラー MFP



bizhub C360
bizhub C280
bizhub C220

The essentials of imaging

A4 オフィスカラーMFP



bizhub C35

A3 オフィスモノクロMFP

Newest



bizhub 602
bizhub 502



bizhub 423
bizhub 363
bizhub 283
bizhub 223

新興国専用モデル

bizhub 184
bizhub 164

Getronics社との提携(欧州、10年11月)

- ▶ 欧州の大手通信会社KPNの子会社であり欧州の有力ITサービスプロバイダーである同社と戦略的提携契約を締結。
- ▶ 同社の持つワークスペースマネジメント、ネットワーク接続、データセンター、コンサルタント等の能力を活用することで、欧州におけるOPS及びGMA展開を加速。
- ▶ 本提携に基づき本年1月より欧州での協業をスタートし、更にグローバルベースでの展開も検討。

All Covered社の買収(米国、10年12月)

- ▶ Managed IT Service分野において全米規模でSMB向けに事業展開している同社を買収。
- ▶ 同社の持つITサービス提供能力を活用して、米国でのバーティカルマーケティング及びOPS展開を加速。
- ▶ 当社の強みであるSMB主体の顧客アプローチを同社の持つSMB顧客基盤にも展開しMFP販売におけるシナジー効果を創出。



KONICA MINOLTA

< 参 考 资 料 >

連結業績 3Q累計比較



KONICA MINOLTA

	10年度 3Q累計	09年度 3Q累計	YoY [億円]
売上高	5,753	5,887	△ 135
売上総利益	2,646	2,586	59
(売上総利益率)	46.0%	43.9%	-
営業利益	283	212	70
(営業利益率)	4.9%	3.6%	-
経常利益	223	191	31
税前利益	163	176	△ 13
当期純利益	108	90	18
(当期純利益率)	1.9%	1.5%	-
EPS [円]	20.35	16.99	-
設備投資額	331	244	87
減価償却費	411	461	△ 49
研究開発費	541	520	21
FCF	58	577	△ 520
為替レート [円] USD	86.84	93.56	△ 6.72
Euro	113.30	133.00	△ 19.70

セグメント別売上高/営業利益

3Q累計比較



KONICA MINOLTA

売上高	10年度 3Q累計	09年度 3Q累計	YoY [億円]
情報機器	3,963	3,939	24
オプト	994	1,026	△ 32
ヘルスケア	625	764	△ 139
その他事業	116	104	11
HD他	55	54	1
グループ計	5,753	5,887	△ 135

営業利益	10年度 3Q累計	09年度 3Q累計	YoY
情報機器	260	181	79
(営業利益率)	6.6%	4.6%	-
オプト	100	103	△ 3
(営業利益率)	10.1%	10.0%	-
ヘルスケア	6	15	△ 9
(営業利益率)	0.9%	2.0%	-
その他事業	16	3	12
HD他	△ 100	△ 90	△ 9
グループ計	283	212	70
(営業利益率)	4.9%	3.6%	-

連結業績 四半期比較



KONICA MINOLTA

	10年度 3Q	09年度 3Q	YoY [億円]
売上高	1,835	1,954	△ 119
売上総利益	837	898	△ 61
(売上総利益率)	45.6%	45.9%	-
営業利益	56	120	△ 64
(営業利益率)	3.1%	6.2%	-
経常利益	44	104	△ 60
税前利益	47	106	△ 60
当期純利益	22	55	△ 33
(当期純利益率)	1.2%	2.8%	-
EPS [円]	4.06	10.32	-
設備投資額	85	70	15
減価償却費	137	152	△ 15
研究開発費	188	167	21
FCF	△ 68	256	△ 325
為替レート [円] USD	82.64	89.72	△ 7.08
Euro	112.23	132.68	△ 20.45

セグメント別売上高/営業利益 四半期比較



KONICA MINOLTA

売上高	10年度 3Q	09年度 3Q	YoY [億円]
情報機器	1,303	1,340	△ 37
オプト	302	321	△ 19
ヘルスケア	176	235	△ 59
その他事業	36	40	△ 4
HD他	17	18	△ 1
グループ計	1,835	1,954	△ 119

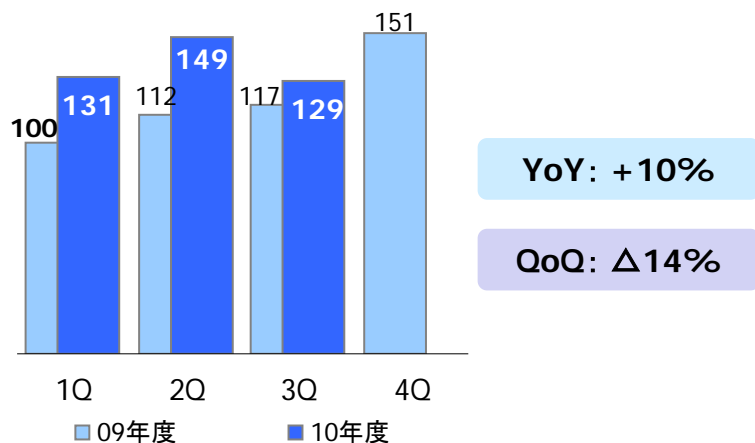
営業利益	10年度 3Q	09年度 3Q	YoY
情報機器	64	102	△ 38
(営業利益率)	4.9%	7.6%	-
オプト	21	42	△ 21
(営業利益率)	6.8%	13.0%	-
ヘルスケア	0.0	△ 3	3
(営業利益率)	0.0%	-1.1%	-
その他事業	5	4	1
HD他	△ 33	△ 25	△ 8
グループ計	56	120	△ 64
(営業利益率)	3.1%	6.2%	-

※その他事業：計測機器事業および産業用インクジェット事業

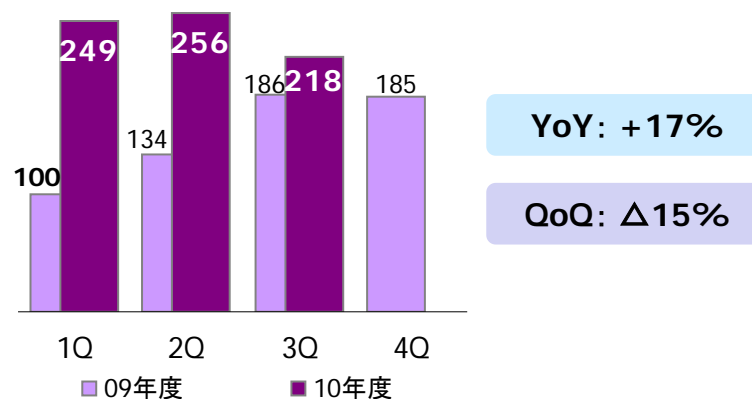
情報機器事業 主要製品販売状況



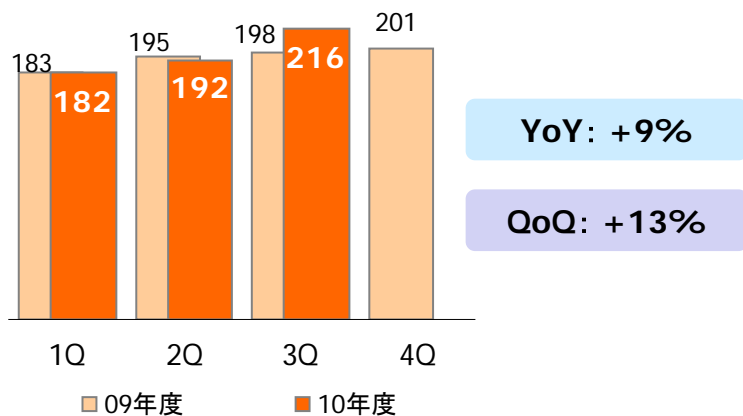
■ A3カラー-MFP 販売台数*



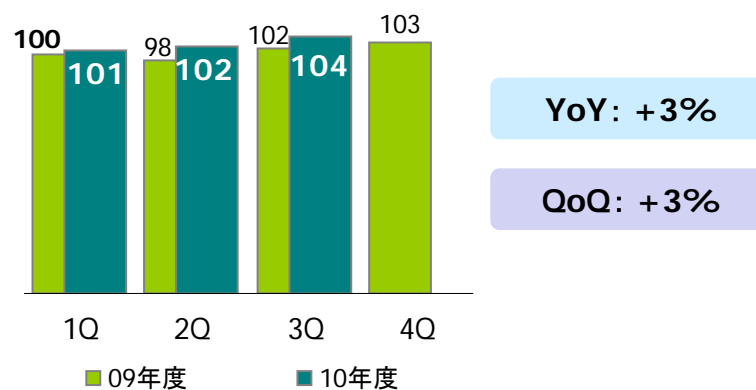
■ A4カラー-MFP 販売台数*



■ プロダクションプリント売上高 [億円]



■ MFPノンハード売上(主要5販売社)* (為替影響排除後)

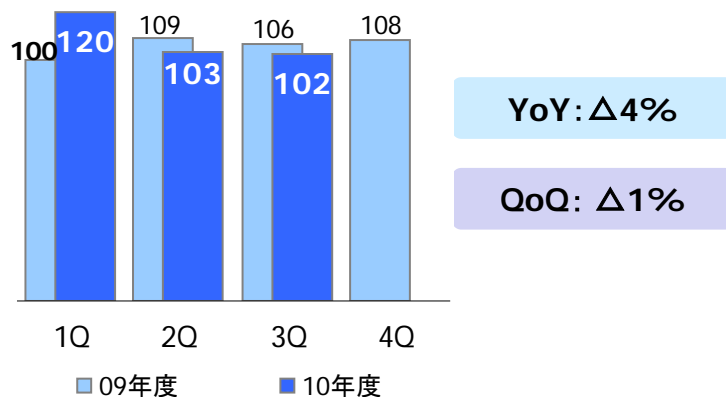


オプト事業 主要製品販売状況

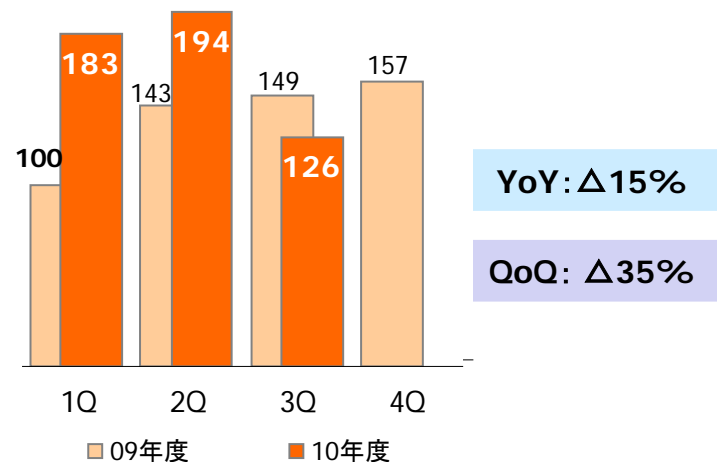


KONICA MINOLTA

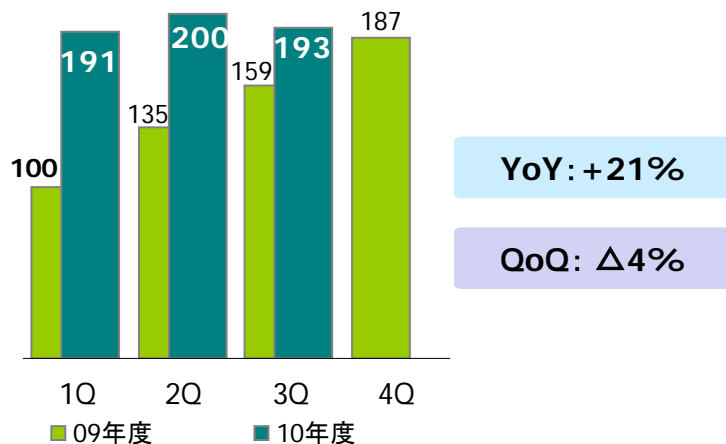
■ TACフィルム販売数量



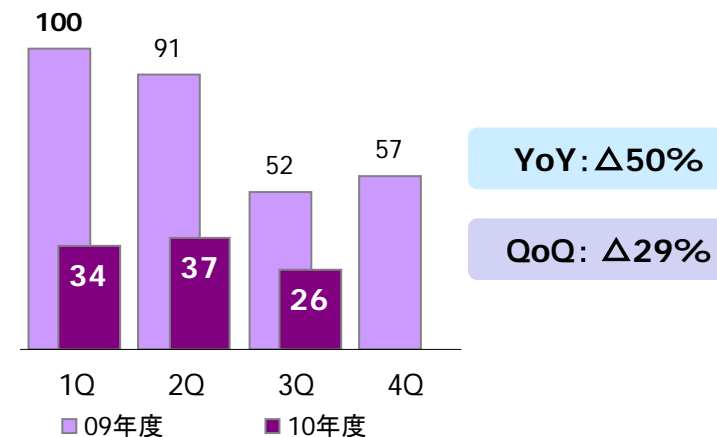
■ ピックアップレンズ販売数量



■ ガラスHD 基板販売数量



■ 携帯電話用コンポーネント



営業利益増減分析

3Q累計前年同期比較 (10年度 vs. 09年度)

[億円]

	情報機器	オプト	その他	合計
[要因]				
為替影響	△ 136	△ 18	△ 15	△ 168
価格変動	△ 131	△ 52	0	△ 183
数量増減他	385	63	△ 11	436
コストダウン	65	19	3	87
経費増減	△ 103	△ 15	17	△ 101
[営業利益]				
増減額(YoY)	79	△ 3	△ 6	70

四半期 前年同期比較 (10年度 vs. 09年度)

	情報機器	オプト	その他	合計
[要因]				
為替影響	△ 42	△ 5	△ 6	△ 53
価格変動	△ 42	△ 14	0	△ 56
数量増減他	81	△ 4	2	78
コストダウン	7	6	△ 1	13
経費増減	△ 42	△ 3	△ 0	△ 46
[営業利益]				
増減額(YoY)	△ 38	△ 21	△ 5	△ 64

販売管理費・営業外損益・特別損益



	10年度 3Q累計	09年度 3Q累計	YoY	10年度 3Q	09年度 3Q	YoY	[億円]
販売管理費							
販売変動費	331	297	33	100	100	0	
研究開発費	541	520	21	188	167	21	
人件費	860	902	△ 41	287	299	△ 12	
その他	631	656	△ 25	206	212	△ 6	
販売管理費 計	2,363	2,374	△ 11	780	777	3	
	* 為替影響額: △ 103 億円(実質増減 +92 億円)			△ 37 億円(実質増減 + 40 億円)			
営業外収支							
金融収支	△ 10	△ 13	3	△ 3	△ 4	1	
為替差損益	△ 39	△ 2	△ 37	△ 6	△ 5	△ 1	
その他	△ 11	△ 5	△ 6	△ 4	△ 7	4	
営業外収支 計	△ 60	△ 21	△ 39	△ 13	△ 16	4	
特別損益							
固定資産売却損益	△ 12	△ 15	3	△ 3	0	△ 4	
投資有価証券および 関係会社株式評価・売却損益	△ 10	△ 1	△ 9	△ 1	2	△ 3	
固定資産減損損失	△ 1	△ 2	1	△ 0	-	-	
事業構造改善費用	△ 33	△ 12	△ 21	△ 1	-	-	
その他	△ 4	13	△ 17	7	0	7	
特別損益 計	△ 60	△ 16	△ 44	3	2	0	

貸借対照表



KONICA MINOLTA

資産の部	[億円]		
	10年12月	10年3月	増減
手元資金	1,925	1,641	283
売上債権	1,531	1,777	△ 246
棚卸資産	1,054	983	71
その他	546	491	55
流動資産 計	5,055	4,893	163
有形固定資産	1,933	2,051	△ 117
無形固定資産	901	991	△ 90
投資その他	689	724	△ 35
固定資産 計	3,524	3,765	△ 241
資産 合計	8,579	8,658	△ 79

負債および純資産の部

仕入債務	757	831	△ 74
有利子負債	2,238	1,974	264
その他負債	1,502	1,645	△ 143
負債 合計	4,497	4,450	47
自己資本 (株主資本+評価換算差額等)	4,069	4,195	△ 126
その他	13	12	0
純資産 合計	4,082	4,208	△ 126
負債・純資産 合計	8,579	8,658	△ 79

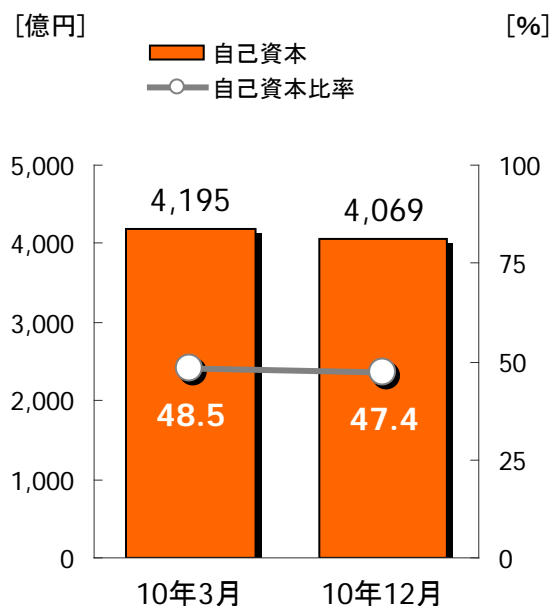
[円]

	10年12月	10年3月	増減
US\$	81.49	93.04	△ 11.55
Euro	107.90	124.92	△ 17.02

連結貸借対照表 主要指標

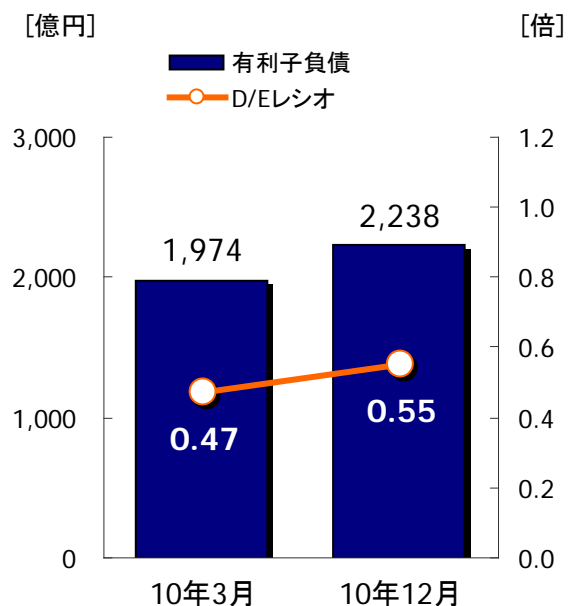


● 自己資本比率



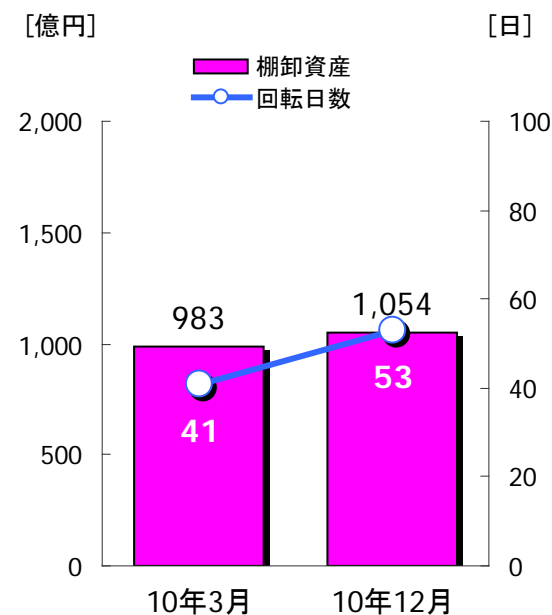
自己資本比率：
 自己資本 ÷ 期末総資産
 ※自己資本=期末株主資本+評価・換算差額合計

● 有利子負債残高・D/Eレシオ



D/Eレシオ：
 期末有利子負債 ÷ 自己資本
 ※自己資本=期末株主資本+評価・換算差額合計

● 棚卸資産・棚卸資産回転日数



棚卸資産回転日数：
 期末棚卸資産 ÷ (売上/日)

キャッシュ・フロー



KONICA MINOLTA

	10年度 3Q累計	09年度 3Q累計	YoY	10年度 3Q	09年度 3Q	[億円] YoY
税金等調整前純利益	163	176	△ 13	47	106	△ 60
減価償却費	411	461	△ 49	137	152	△ 15
法人税等の支払額	△ 64	4	△ 68	△ 33	△ 58	25
運転資本増減他	△ 116	245	△ 360	△ 74	144	△ 218
I. 営業活動によるキャッシュフロー	395	885	△ 490	76	344	△ 268
II. 投資活動によるキャッシュフロー	△ 337	△ 308	△ 29	△ 145	△ 88	△ 57
I.+ II. FCF	58	577	△ 520	△ 68	256	△ 325
有利子負債の増減	310	△ 263	574	341	△ 400	741
配当金の支払額	△ 78	△ 91	13	△ 39	△ 38	△ 0
その他	△ 11	△ 17	5	△ 4	△ 7	2
III. 財務活動によるキャッシュフロー	221	△ 371	592	298	△ 445	743